

実施計画 4.5.陸域対策との連携

<実施計画>

【目的④】

地域住民、産業従事者等が石西礁湖におけるサンゴ礁生態系のしくみを学び、自然再生の取組に参加することで、その効果や意義について学ぶ機会を提供する。

【目標】

赤土流出防止等の陸域対策に関する取組を促すことで、サンゴ群集を衰退させる陸域負荷を軽減させる。

【実施事業】

① 関係行政機関等への働きかけ

赤土等の流出防止対策に関連する国・県・市・町の関係部局等に対し、必要に応じて環境省が把握しているモニタリングデータを提供するなど、これらの機関が実施している取組を支援するとともに、各海域に影響を及ぼす地域ごとに陸域負荷の特性を踏まえ、より効果的な取組が推進されるよう働きかけていく。

② 陸域対策の重要性の周知

サンゴ礁生態系にとって陸域負荷の影響が甚大であること、これを防止するための対策が極めて重要であることを、関係機関や学校等を通じて広く周知していく。

<目次>

| | | |
|-------|------------------------|---|
| 1. | 関係行政機関等への働きかけ..... | 3 |
| 1.1 | 事業・報告書名..... | 3 |
| 1.1.1 | 土壌保全の日への参加..... | 3 |
| 1.1.2 | 陸域対策に係るワークショップの開催..... | 3 |
| 1.2 | 項目..... | 3 |
| 1.2.1 | 土壌保全の日への参加..... | 3 |
| 1.2.2 | 陸域対策に係るワークショップの開催..... | 3 |
| 1.3 | 実施日・実施時期..... | 4 |
| 1.3.1 | 土壌保全の日への参加..... | 4 |
| 1.3.2 | 陸域対策に係るワークショップの開催..... | 4 |
| 1.4 | 結果..... | 5 |
| 1.4.1 | 土壌保全の日への参加..... | 5 |
| 1.4.2 | 陸域対策に係るワークショップの開催..... | 5 |
| 2. | 陸域対策の重要性の周知..... | 6 |
| 2.1 | 事業・報告書名..... | 6 |
| 2.2 | 項目..... | 6 |
| 2.3 | 実施日・実施時期..... | 6 |
| 2.4 | 結果..... | 6 |

1. 関係行政機関等への働きかけ

1.1 事業・報告書名

1.1.1 土壌保全の日への参加

報告書なし

1.1.2 陸域対策に係るワークショップの開催

| 対象年度 | 報告書名 | WEB掲載状況 |
|------|---|---------|
| H17 | 「石西礁湖自然再生協議会及び石西礁湖自然再生事業支援専門委員会運営業務報告書」 | — |
| H18 | | — |
| H19 | | — |
| H20 | 「石西礁湖自然再生協議会及び石西礁湖自然再生事業支援専門委員会運営業務報告書」 | — |
| | 「平成20年度石西礁湖におけるサンゴ礁生態系保全のための統合的環境管理に関する調査及び普及啓発事業業務報告書」 | ○（センター） |
| H21 | 「石西礁湖自然再生事業実施補助業務」 | — |
| H22 | | — |

1.2 項目

1.2.1 土壌保全の日への参加

- ・ 「赤土等の流出防止対策」に関連した講演
- ・ 緑肥作物（クロタラリア、ヒマワリなど）の播種

1.2.2 陸域対策に係るワークショップの開催

- ・ 「石西礁湖自然再生行動指針【陸域対策】」の作成
- ・ 陸域対策に係る情報交換

実施計画 4.5.陸域対策との連携

1.3 実施日・実施時期

1.3.1 土壌保全の日への参加

- ・ 平成 21 年度：平成 21 年 6 月 9 日（火）
- ・ 平成 23 年度：平成 23 年 5 月 31 日（火）

※H21 年度からの参加。H22 年度は、波照間島での開催のため不参加。

1.3.2 陸域対策に係るワークショップの開催

| 年度 | 内容 | 開催日 |
|-------------|------------|------------------------------|
| 平成 17～18 年度 | 対象となる活動はない | |
| 平成 19 年度 | 陸域対策 GD | H19.12.15、H20.3.22 |
| 平成 20 年度 | 陸域対策 | H20.6.13、H20.10.24、H21.1.30 |
| | 陸域対策行政懇談会 | H20.10.16 |
| | 陸域対策 | H20.12.17 |
| 平成 21 年度 | 陸域対策 GD | H21.6.26 (陸域対策行動指針を取り纏めた) |
| | 陸域対策 WS | H22.1.27 |
| 平成 22 年度 | 対象となる活動はない | |

※GD：グループディスカッション、WS：ワークショップ

1.4 結果

1.4.1 土壌保全の日への参加

土壌保全の日のイベントには、毎年、農家、地域住民、地元小学生、関係団体から約50～80名が参加している。

セレモニーでは、主催者あいさつの後、赤土対策に関する講演や緑肥作物を利用して土壌の流出を防ぐ方法などが説明された。セレモニーの後は、参加者全員で、圃場に緑肥作物の播種を行った。



1.4.2 陸域対策に係るワークショップの開催

石西礁湖自然再生協議会において設置された陸域対策グループにおいて、グループディスカッションやワークショップを開催し、「石西礁湖自然再生行動指針【陸域対策】」（平成21年6月）を作成した。また、「陸域対策行政懇談会」を開催し、赤土対策や栄養塩対策について意見交換を行った。



2. 陸域対策の重要性の周知

2.1 事業・報告書名

「石西礁湖自然再生事業実施補助業務」

2.2 項目

- ・ 平成 22 年度 海の自然教室 石垣島サンゴウィークコラボ企画
シンポジウム「陸から海へのつながり（赤土流出の問題点と解決方法への挑戦）」

2.3 実施日・実施時期

- ・ 平成 23 年 3 月 13 日（日）13:30～16:00

2.4 結果

場 所：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター

出席者：（計 17 名）

講 師：沖縄県農業研究センター石垣支所 支所長 亀谷 茂氏

九州沖縄農業研究センター南西諸島農業研究チーム

チーム長 生駒 泰基氏

発表者：石西礁湖自然再生協議会陸域対策グループ 干川 明氏

参加者：18 名※事務局除く

法政大学 2 名、芝浦工業大学 4 名、コーラル沖縄 3 名、WWF2 名

石垣市 1 名、その他一般 5 名、報道 1 名

事務局：3 名（環境省/佐藤・比屋根、いであ(株)吉良）

